

# 名古屋大学地震火山研究センター2016年度年次報告会

日時：2017年3月21日（火）13：30-17：00

場所：名古屋大学環境総合館レクチャーホール（環境総合館1階）

**13：30 - 14：40 口頭講演（前半）**

座長 山岡耕春（タイムキーパー：木村洋）

13：30 - 13：40 センター長 山岡耕春教授 挨拶

13：40 - 14：10 地殻変動観測が明らかにした地震の多様性

○伊藤武男

14：10 - 14：40 南海－琉球域での海底地殻変動観測の成果と高度化へ向けて

○田所敬一

【休憩 10 分】

**ポスターセッション（コアタイム 14：50 - 15：20）**

P1 2016年度GNSS観測点設置およびそのテレメータについて

○松廣健二郎

P2 島弧地殻変形と内陸地震のメカニズム

○鷺谷威・Angela Meneses-Gutierrez・張学磊・下山友実・熊谷光起

P3 GNSSデータ解析による長期的SSE発生メカニズムの解明:体積膨張の検討

○光井能麻

P4 地震発生サイクルシミュレーションによる南海トラフ地震の再現と断層構成関係の検討

○橋本千尋

P5 沈み込む海洋リソスフェアのBending-Unbending遷移領域における曲率推移と曲げ力学

○篠島僚平

P6 2016年熊本地震が提起した活断層評価の課題

○鈴木康弘・渡辺満久（東洋大）・中田高（広島大）

P7 応力場の時間変化に基づく御嶽火山のモニタリング

○寺川寿子・山中佳子・前田裕太・堀川信一郎・奥田隆

P8 浅間山の長周期地震に伴う短周期振動の振幅震源決定

○前田裕太・武尾実（東大）

P9 DC中継機を利用したテレメータについて

○堀川信一郎

【休憩 10 分】

**15 : 30 - 17 : 00 口頭講演（後半）**

座長 鷺谷威（タイムキーパー：辻修平）

15 : 30 - 16 : 00 地震波を用いた東海地域の地下構造の推定 ○渡辺俊樹

16 : 00 - 16 : 30 御嶽山での新たな地震観測—名古屋大学の取組— ○山中佳子

16 : 30 - 17 : 00 火山防災における大学と地域との連携 ○山岡耕春